

令和 6 年 3 月 2 2 日

令和 5 年度学校評価結果報告書

桶川市立桶川東小学校

校長 吉田 泰宏

1 目指す学校像 「先生大好き・友だち大好き・学校大好き 桶川東小学校」

2 評価結果

領域	No.	評価項目	自己評価		学校関係者評価 または 学校運営協議会における評価
			評価	説明及び学校の考え	
組織 ・ 運営	1	教職員一人一人が学校経営方針を踏まえ、主体的に分掌の遂行に努めている。	A	先生方一人一人が分掌の遂行に努めている。 管理職への報告・相談・連絡がしやすい雰囲気がとても良い。	・教職員間の雰囲気がよいのは、とても良いことである。昨今、教員の不祥事も報道されている。風通しの良い職場であることは大切である。
	6	学校は諸会議の計画的・効率的な運営と、校務支援・週報の活用を図っている。	A	週報や校務支援等を活用して、共通理解を図れている。 職員会議の前に教科等部会や運営委員会などの時間を設けた。より計画的に進められていて大変良い。	・効率的・計画的に会議が進められているのはよい。会議は縮小傾向にあると思うが、しっかりと話し合いをする中で、ベテランの先生の考え方や取り組み方を学ぶよい機会にもなる。
学習 指導	8	学校は学習課題を明確にしたわかる授業を創造し、基礎基本を定着させている。	A	今年度は、授業研究や学校課題研究の取組として「お散歩デー」があり、様々な先生方の授業を参観できる機会が増えた。本校のスタイルを理解したり自身の授業改善につながった。	・様々な研修や、お散歩デーという授業参観の機会を設けていることがよい。そういった時間や機会があることで、勉強しやすい雰囲気になる。 ・ノート DAY はよい取組と感じる。特に、高学年では子供のノートをみるものがなくなっていくため、保護者への啓発になる。
	13	学校は家庭との連携を図り、積極的に家庭学習に取り組ませている。	A	ノート DAY があることで、保護者が関心をもってくれるようになった。児童への励ましのコメントを書いてくれることもあり、児童にとってもよい効果があった。	
生徒 指導 ・ 教育 相談	15	学校はいじめ防止基本方針を基に、児童理解を進め、いじめの根絶を図っている。	A	児童会によるよびかけや、小さな芽を見逃さず、積極的な生徒指導を組織的に行えている。些細なことでもよく相談することができる。	・いじめの件数については、数の多さだけで判断できるものではない。それらをよく見付けてくれ、未然に防いでいることだと捉える。
	20	学校は、児童が時と場に応じたあいさつや返事ができるように指導している。	B	あいさつや言葉遣いの指導を繰り返し、根気強くする必要がある。よくなっているとは感じるが、時と場に応じた態度とともに指導していきたい。	・あいさつがよくできる児童がいる。特に校内では、学年に関係なく自分からあいさつをしてくれている。校外では、声が小さくなったりあいさつの声が出なかったりする場合もある。繰り返しの指導が必要。

健康教育	24	学校は、児童の体力向上のために体育や外遊び等に意欲的に取り組むように働きかけている。	B	35分休みに「外に出なければならぬ」という指導ではない方がよいのではないか。室内で読書などをして静かに過ごしたり、自分の好きなことに集中して取り組んだりすることもある。	<ul style="list-style-type: none"> ・外で遊ぶことについて、強要されると辛い児童もいるだろう。体力の向上は必要であるが、それだけでは理解してもらえないことも多い。 ・不審者や地震等災害に対する備えは必要である。適切な指導を続けてほしい。
	27	学校は、児童に災害や危険を回避できる生活安全能力を育成するための具体的な指導を適切に実施している。	A	防災訓練について、毎回検討が進んでいる。様々な危険や災害に備え、どのような指導を行う必要があるか、今後も検討し改善をする。	
学習環境	28	学校は掲示物の工夫や整理整頓に配慮したり、体力向上の取り組みをしたりして、学習と運動の環境を整備している。	B	<p>黒板や教室前面にある掲示物が多く、煩雑な印象を受ける教室がある。日頃から整理整頓が必要である。</p> <p>体力の向上について、時期により取組をしている。児童がその期間集中して運動に取り組むことができるのがよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廊下などに、様々な掲示がされており、児童にとって興味を高めるものとなっている。縄跳びの取り組みなど、児童が寒い中でも体をよく動かせる取組があつてよい。 ・学校ファームは、地域の方を巻き込むことも一つの手ではないか。PTAとも話をしながら考えていく。また、全ての学年ではなく、作物がしっかりと育つよう3つくらいに絞ってはどうか。
	29	学校は栽培活動（学校ファーム）や奉仕活動（福祉体験活動）を充実させている。	B	学校ファームの管理や活動の仕方について検討が必要である。また、福祉体験活動についても取り組み方を検討する。	
教職員の資質向上	31	学校は、研修に意欲的に取り組み、自らの資質を高め、指導力の向上を図ろうとしている。	A	夏季研修や学校課題研修など、計画的に進んでいる。お散歩デーや任意研修など、自主的に研修を進めることもできるのでよい。研究授業などのタイミングが重ならないようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が進んで他の先生の授業を見て学ぶというのはよいことである。社会が大きく変化しており、学ぶことも多いと思うが、研鑽に励んでほしい。 ・ニュースでは教員の不適切な行動について報道されている。昔と今では、子供に対する接し方で注意することも変化している。服務規律については、十分に注意し、日々指導をお願いしたい。
	33	学校は倫理確立委員会の機能を充実させるなど服務規律の徹底を図り、教職員はサービスの厳正を認識し、実践している。	A	輪番制で、様々な職員が研修を行うので、テーマや研修内容が入ってきやすい。	
家庭・地域との連携	35	学校は、保護者やPTA、地域の期間との関連を図って活動をしている。	A	2学期の教育相談週間で、もう少し多くの保護者と話ができるようにできないか。学校からも面談の希望を積極的に伝えることを保護者にご理解いただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談というと、身構えてしまう保護者も多いのではないか。丁寧に共通理解を図りながら、面談については相談してほしい。 ・ホームページがよく更新されていて、学校の様子がわかる。児童の顔や名札などに配慮しながらの掲載は大変なこともあると思うが、これからはどんどん発信してほしい。
	36	学校は、学校だより・情報メール・ホームページなどにより、教育活動の様子や情報などを積極的に保護者・地域に発信するよう努めている。	A	情報メールやホームページでの発信が浸透してきたように感じる。学級通信がなくとも、クラスの様子や学年の様子が伝わるように、ホームページなどの媒体をうまく活用していきたい。	

*評価項目については各学校で領域ごとに項目を2～3設定する。